

3月1日～3月8日は、「女性の健康週間」です。

なりたい自分をデザインする
丸の内キャリア塾
Marunouchi Career Academy

×

公益社団法人日本産科婦人科学会・公益社団法人日本産婦人科医会
女性
for women's health

女性の健康週間

産婦人科医は、女性を守り続けます。
— 生涯主治医がいる安心を —

開催概要
プログラム
のご案内

2025年 女性の健康週間 丸の内キャリア塾 スペシャルセミナー

女性の健康と働き方

～誰もが健やかな社会の実現へ～

仕事に、家庭に、プライベートに…と頑張る日々。カラダのことは考えていますか？女性特有の不調や疾患をそのままにせず、もっと自分らしく過ごすために今からできる“女性のカラダ”のとおき役立つ情報をお伝えします！

オンラインライブ配信（無料）

事前登録制

※どなたでも視聴いただけます。

申込締切

3月3日（月）12時

日時：2025年 3月3日（月）18:30～20:00

お申込みサイトはこちら ➡ <https://events.nikkei.co.jp/71106/>



18:30～18:35



開会挨拶

日本産科婦人科学会 理事長

加藤 聖子 先生

18:35～18:55



女性のキャリアプランと更年期障害

東京科学大学

（大学院医歯学総合研究科 茨城県地域産科婦人科学講座）教授

寺内 公一 先生

18:55～19:15



ハナウタを口ずさみながら散歩するように キャリアを進めていく～女性の仕事環境改善に向けて～

日本医科大学 千葉北総病院 助教

可世木 華子 先生

女性の健康に関するギモンにお答えします！

19:15～19:55



女性のための統合ヘルスクリニック
イーク表参道 副院長

高尾 美穂 先生



丸の内の森レディースクリニック
院長

宋 美玄 先生



アナウンサー 福田 典子 氏

※申込者から事前にいただいたご質問に回答するセッションです。

19:55～20:00



閉会挨拶

公益社団法人 日本産婦人科医会 会長

石渡 勇 先生

主催：日本経済新聞社 メディアビジネス イベント・企画ユニット
共催：公益社団法人日本産科婦人科学会、公益社団法人日本産婦人科医会
広告協賛：あすか製薬株式会社、久光製薬株式会社、富士製薬工業株式会社

※プログラムは変更する可能性があります。

後援

内閣府、日本医師会、日本栄養士会、日本看護協会、日本歯科医師会、日本助産師会、日本薬剤師会、日本学校保健会、全日本私立幼稚園PTA連合会、日本周産期・新生児医学会、日本女性医学学会、日本生殖医学会、日本婦人科腫瘍学会、日本産科婦人科内視鏡学会、日本産婦人科乳癌医学会、日本思春期学会、日本女性心身医学会、日本糖尿病・妊娠学会、日本乳癌学会、日本乳癌検診学会、日本妊娠高血圧学会、日本婦人科がん検診学会、日本母性衛生学会、日本卵子学会、日本エンドメトリオーシス学会、日本産婦人科手術学会、日本受精着床学会、日本生殖免疫学会、日本母体胎児医学会、国連人口基金駐日事務所

3月1日～3月8日は、「女性の健康週間」です。

日本産科婦人科学会と日本産婦人科医会は、産婦人科医が女性の健康を生涯にわたって総合的に支援することを目指し、3月3日ひな祭りを中心に、3月8日国際女性の日までの8日間を「女性の健康週間」と定め、2005年にその活動を開始しました。2008年からは、厚生労働省も主唱する国民運動として、女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を自立して過ごすことを総合的に支援するため、国や地方公共団体、関連団体が一体となり、さまざまな活動を展開しています。

講師プロフィール



加藤 聖子 先生
日本産科婦人科学会 理事長

九州大学医学部卒業。米国ラ・ホヤ癌研究所留学を経て、九州大学生体防御医学研究所、九州大学病院、順天堂大学勤務。2012年より現職。産婦人科領域の基礎研究・臨床・教育を行っている。2023年6月より日本産科婦人科学会理事長に就任し、女性の健康と生まれてくる子の幸せのために、学会運営と情報発信を行っている。



寺内 公一 先生
東京科学大学
(大学院医歯学総合研究科
茨城県地域産科婦人科学講座)
教授

1994年東京医科歯科大学医学部卒業。2005年米国エモリー大学リサーチフェロウ。日本女性医学学会副理事長・北米閉経学会認定医など多くの役職・資格を持ち、女性ヘルスケアの分野で幅広く活動している。



可世木 華子 先生
日本医科大学 千葉北総病院 助教

千葉県鴨川の亀田総合病院にて研修を開始。産婦人科専門医を取得後に子宮内膜症や良性疾患の腹腔鏡手術のスキルを身につけるべく日本医科大学の産婦人科学教室へ入局。現在は日本医大千葉北総病院で婦人科ロボット手術、腹腔鏡下手術の立ち上げをし、より多くの女性が自分らしく生きていけるためのお手伝いをするをモットーに女性ヘルスケア中心の診療を行っています。



高尾 美穂 先生
女性のための統合ヘルスクリニック
イーグ表参道 副院長

婦人科医として臨床の場でのリアルな声を聴き、その方の状況・環境に合わせた提案をする姿勢を大切にしている。また、クリニックを離れた活動も継続しており、2011年より働く女性を支える産業医として、女性の健康課題についてのリテラシーを高めるべく講演会や疑問、質問に答える場などを自治体や企業を通して提供している。



宋 美玄 先生
丸の内森レディース
クリニック 院長

子育てをしながら、働く女性のためにレディースクリニックを運営。福島大野病院事件をきっかけにメディアでの情報発信を始め、さまざまな媒体で女性ヘルスケアについて啓発。



福田 典子 氏
アナウンサー

1991年生まれ。2013年立教大学経営学部を卒業後、RKB毎日放送入社。情報番組やスポーツ番組を担当し、福岡ソフトバンクホークス番リポーターとして活躍。2016年テレビ東京に中途入社。「モヤモヤさまぁ〜ず2」の3代目アシスタントに抜擢。そのほか主な担当番組は「よじごじDays」「追跡LIVE! SPORTSウォッチャー」等。野球、ゴルフ、卓球、フィギュアスケート、柔道、競輪、ソフトボールなどスポーツ中継の経験を生かし、リオ、平昌、東京と3大会のオリンピック報道にも携わった。2024年3月末日にテレビ東京を退職し、フリーアナウンサーとして活動中。一児の母。



石渡 勇 先生
公益社団法人
日本産婦人科医会 会長

慶應義塾大学医学部卒業 日本産科婦人科学会専門医、母体保護法指定医、日本臨床細胞学会細胞診専門医。代表を務める日本母体救命システム普及協議会(J-CIMELS)では、母体救命の研修会の実施を通して妊産婦死亡の削減に寄与。石渡産婦人科病院院長、日本産婦人科医会会長。

お問い合わせ

「丸の内キャリア塾 スペシャルセミナー」事務局(株)日経イベント・プロ内
<https://conf1.nep-sec.jp/form/xwboEQ>